

厳しい寒さも徐々に和らぎ、「エコみらいひたち」の工事現場周辺の木々も少しずつ芽吹き始めるなど、春の兆しも感じられる季節となりました。

今号では、「モルタル吹付工」の施工状況や茨城大学の研究生による現地見学の様子等をお知らせいたします。



モルタル吹付工の施工状況

廃棄物の埋立を行う埋立地では、北側区画の底部の盛土工事が完了しました。現在は、法面の盛土工事を進めており、盛土工事が完了した箇所から、順次、遮水構造の下地となる「モルタル吹付工」を実施しています。

「モルタル吹付工」は、法面に金網を設置し、厚さ10cmのモルタルを吹き付ける工法です。現場内のプラントで、砂・セメント・水を混合し、専用の機械で丁寧に吹き付けています。

この作業は、法面を滑らかに整え、遮水構造の損傷を防止する目的で行っています。



＜モルタル吹付工の施工状況＞



＜吹付プラントの設置＞

【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所

電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp

その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。



茨城大学研究生が現地を見学

昨年12/25、茨城大学工学部の研究生が、実践的な知識を深めるため、工事現場を訪れました。

処分場の概要説明を受けた後、重力式擁壁の施工現場では、普段見ることができない、土砂を埋め戻す前のコンクリート打設面を確認するなど、実際の施工現場を熱心に見学していました。



＜研究生の現地見学の様子＞

道路の凍結防止対策を実施

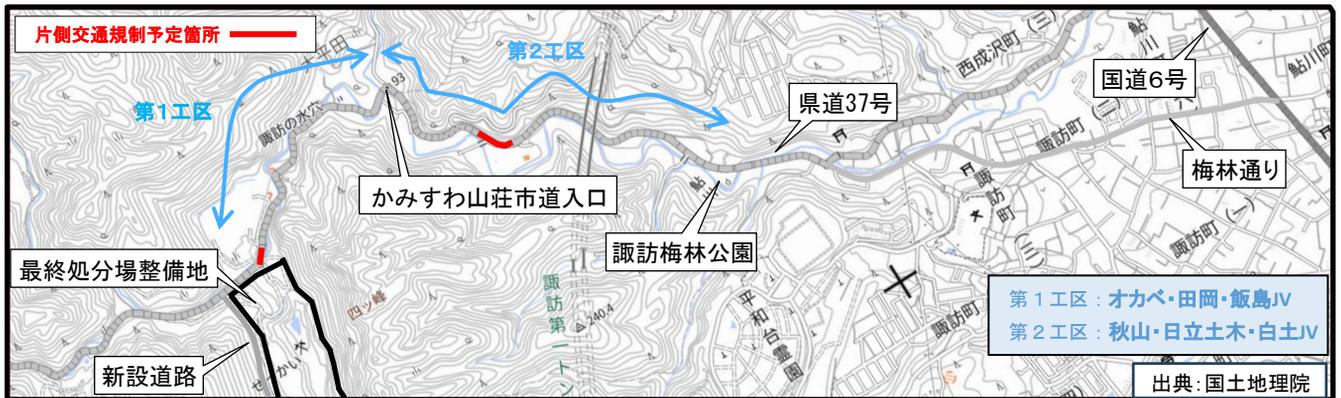
朝晩はまだ冷え込む日もあるため、引き続き道路の凍結に備えて、近隣の皆さまや工事車両が安全に通行できるよう、「凍結防止剤(塩化カルシウム)」の散布を実施しています。

特に、雨の日の翌日や日中でも日陰となる場所は、凍結しやすいため、重点的に散布しています。



＜凍結防止剤の散布状況＞

上下水道工事に伴う交通規制予定箇所（3月）



処分場建設工事中の環境モニタリング

工事中の環境モニタリングの結果

● 地下水(11月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。

環境モニタリングの詳細な結果は事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点